



## Doado pelo Povo Japonês

### 日本国政府、サンタ・カタリーナ州フレイ・ロジェリオ市と草の根無償援助の贈与契約を締結

9月6日、在クリチバ日本国総領事館はサンタ・カタリーナ州フレイ・ロジェリオ市にて、同市のとの間で、「イルマ・フロレンチーナ教育センター改修拡大計画」に対する、草の根・人間の安全保障無償資金協力スキームを通じた資金供与として、99,506米ドルの贈与契約を締結しました。

署名式には、当館から池田総領事、被供与団体であるフレイ・ロジェリオ市側からはオスニ・バチスタ・アルベルトン市長、本多泉美セルソ・ラモス日伯文化体育協会会長、オノフレ連邦下院議員、ラモス移住地関係者、同市関係者、報道関係者等の約600名が出席しました。

フレイ・ロジェリオ市が運営するイルマ・フロレンチーナ教育センターは1945年に市立小学校として設立され、180世帯が居住するトリチコラ地区の唯一の教育施設です。2010年より6ヶ月から6歳の乳幼児も受け入れるようになり、現在106人の生徒に教育サービスを提供しています。他方、生徒増員に伴い、増設工事は行ったものの、既存施設の老朽化による損傷の改修工事のための予算を確保することが難しい状況でした。そのため、日本政府は、同市の要請に対し草の根・人間の安全保障無償資金協力スキームを通じて同センターの施設改修及び一部増築のために資金援助をすることとしました。

署名に際し、池田総領事より「日本政府による草の根無償資金協力を通じ、フレイ・ロジェリオ市のイルマ・フロレンチーナ教育センターの教育環境が改善されることを期待したい。また、本件が着実に実施され、適切に維持管理されていくことを祈願している」旨の挨拶を行いました。

また、同市出身のオノフレ連邦下院議員より「自分（同議員）はイルマ・フロレンチーナ小学校（現イルマ・フロレンチーナ教育センター）の卒業生であり、本件が採択されたことは本当にうれしい。サンタ・カタリーナ州及びフレイ・ロジェリオ市を代表し、我が校校舎を改修拡充するプロジェクトが選ばれたことを日本政府及び総領事に心から感謝したい」旨述べました。

草の根・人間の安全保障無償資金協力は日本国民の納める税金を財源とし、基礎教育、職業訓練、保健衛生及び社会福祉の分野において発展途上国の社会開発を支援することを目的としています。在クリチバ日本国総領事館は、今後も草の根・人間の安全保障無償資金協力を通じて、パラナ州及びサンタカタリーナ州の社会開発に貢献していく方針です。

【お問い合わせ先】

在クリチバ日本国総領事館

草の根・人間の安全保障無償資金協力

Tel : 041-3322-4919

Email : cgjapc@c1.mofa.go.jp



署名式の様子



贈与契約に署名する池田総領事とアルベルトン市長



池田総領事とアルベルトン市長